

立川駅北東エリアを歩く

平成28（2016）年5月2日、現代部会はJR立川駅北東エリアの巡見を実施し、近代から現代にかけての立川の都市化と発展の様相がうかがえるスポットを巡りました。ここではその内容をご紹介します。

1 憩いの場

旧陸軍飛行第五連隊
米軍基地正門跡

旧陸軍飛行第五連隊、のちの米軍基地の正門があったところです。平成2（1990）年の市制50周年を記念して、「市制50周年憩いの場」がつけられました。基地の跡地利用が進み、大きな変貌を遂げた現在、ヒマラヤ杉が往時をしのばせています。

☞表紙の写真④

2 ファーレ立川

米軍基地跡地の再開発により平成6（1994）年に誕生した業務地区が「ファーレ立川」です。約6haの土地にオフィスビル・図書館・映画館・デパート・ホテルなど11の建物が並んでいます。車止め・換気塔・街灯などの設備と一体化した109のパブリックアートの総称が「ファーレ立川アート」。世界36か国・92人のアーティストによる作品が、訪れる人たちに驚きと発見を提供しています。☞表紙の写真③

3 立川キネマ跡 (案内板)

大正11（1922）年に立川飛行場が完成すると、岐阜県から飛行第五大隊（のちの飛行第五連隊）が移駐しました。それに伴い立川村の人口も増加し、翌年には立川町になりました。立川キネマは、大正14（1925）年完成。多くの人に娯楽を提供し、「映画の街立川」の先駆けとなりました。現在では案内板で当時を知るのみとなっています。

☞表紙の写真⑥

4 立川競輪場

戦時中空襲を経験した自治体では、戦災復興の財源をまかなうため、競輪事業に乗り出した事例が多くみられます。立川市でも、昭和24（1949）年3月の市議会で自転車競技場設置の請願を採択したのを機に招致活動を展開し、昭和26（1951）年に開設の認可を得ます。開設以来、多くのファンや市民に支えられ、収益金は市財政にも大きく貢献をしています。

☞表紙の写真⑤

5 栄緑地 (旧引込線)

大正11（1922）年の立川飛行場の建設とともに、貨物専用の引込線が飛行場の東西に建設されました。戦後は米軍も使用しましたが、昭和52（1977）年に基地が全面返還され、それとともに線路が撤去され、昭和55（1980）年、遊歩道に生まれ変わりました。

☞表紙の写真②

6 南部住宅

昭和18（1943）年、立川飛行機株式会社（立飛）の工員宿舎「高松住宅」として建設された、二戸建平屋480戸の住宅団地です。砂川村に位置していますが、立川市の地名（高松）が名付けられており、立川市に属するような錯覚を与えることから、のちに、砂川村の南部を意味する「南部住宅」に改称されました。

7 けやき台団地

昭和38（1963）年の立川市・砂川町合併後、砂川地区の開発等による人口増加を背景に、学校・保育園・スーパーマーケット・郵便局・銀行・診療所などを併設した1600戸のマンモス団地の建設が計画されます。昭和41（1966）年9月1日に、けやき台小学校が開校し、同年10月3日には、けやき台団地も完成、入居が開始されました。

☞表紙の写真①

8 「赤とんぼ」 誕生の地

戦闘機・練習機などの航空機生産で一躍名をはせたのが立飛です。大正15（1926）年、東京市京橋区（現・中央区）にあった石川島飛行機製作所が立川飛行場の隣地を買収し、昭和5（1930）年に移転を完了しました。昭和11（1936）年、立川飛行機と社名変更し、砂川村に工場を拡張しました。立飛は、「赤とんぼ」と呼ばれた九五式一型練習機や、中島飛行機が設計した一式戦闘機「隼」の生産に力を注ぎました。

巡見及び本特集執筆にあたって、下記の文献を参考にしました。市内の図書館でご覧ください。

《参考文献》

- ・立川市教育委員会 1990『市制50周年記念「写真集たちかわ」』
- ・立川市教育委員会 1999『立川の昭和史 第二集 昭和初期の耕地整理と鉄道網の発達』
- ・立川市教育委員会 2000『立川の生活誌 第五集 映画の街とその時代』
- ・立川飛行場に関する学習会編 1995『昭和記念公園は飛行場だった—立川飛行場に関する学習会の記録』
- ・東京都立川市議会史編さん委員会 1992『立川市議会史 記述編』
- ・南部自治会50周年記念誌作成委員会 2003『南部自治会50周年記念誌』
- ・三田鶴吉 1976『立川飛行場史』
- ・三田鶴吉 1983『立川飛行場物語』



アート散歩のお供に
ガイドアプリ
ファーレ立川
アートナビ

ファーレナビ

FARET NAVI



- ① 米軍基地正門跡地。道路を挟んで両脇に「市制50周年憩いの場」がつくれる ② ファーレ立川アートと街並み
③ 立川キネマがあったことを示す案内板(右)と、巡見の様子(左) ④ 平成28(2016)年12月にリニューアルオープンした立川競輪場
⑤ 引込線の跡地に作られた遊歩道、栄緑地 ⑧ 立飛敷地内に立つ立飛発祥の地の碑